

主に新入会員様向け

ロータリークラブにおける
社会奉仕活動のはじまりと4つのテストについて

2024-25 ロータリー情報委員会

委員長 中野秀一

最初の社会奉仕活動

「公衆便所設置」について

- ポール・ハリスは、ループ地区(シカゴ中心部)の通行人が公衆便所がないために不便な思いをしているという話を、たまたま出席した商工会の集まりで聞きこみ、これを奉仕活動を実践する絶好の機会だと捉えました。
- シカゴ・クラブはグレート・ノーザン・ホテルに25の市民団体の代表を集め、**連合公衆便所建設委員会を設立**、行政に働きかけますが、既に施設内にトイレを持っていることを強く主張する、シカゴ醸造組合と百貨店組合の激しい妨害を受けます。

・当時のループ地区で顧客用にトイレを供用していたのは、百貨店かバー位しかなく、**トイレを借りる必要**に迫られた通行人は、**女性は化粧品を買うこと**と引き換えに、百貨店のトイレを借り、**男性はビールの一杯も飲み**にバーの扉をくぐらなければなりませんでした。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明らかでした。交渉は長引き、2年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には建設用地と20,000ドルの補助金を市当局から受け取ることに成功して、**1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来あがった**のです。

・公衆便所設置は**市民のニーズに従って市民団体を組織し、行政当局に働きかけて実施**にこぎつけたものであり、俗にいわれるような**単に金銭を拠出した団体奉仕活動ではなかった**ことに注目しなければなりません。

Four-way test 「四つのテスト」 について

- 1929 年から始まった世界大恐慌の時期に、ロータリアンがなしとげた大きな業績の一つに、四つのテストの制定があります
- 1931 年、シカゴ・クラブの会員であった**ハーバート・テラー**は、不況のあおりを受けて、莫大な借金を抱え**倒産の危機に瀕していたクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けること**になりました。会社の再建に失敗すれば、250 人の従業員が仕事を失うことになるという状況下の中、**会社を再建するためには、道徳的、倫理的な指標が必要**だと考えました。
- 従業員が正しい考え方を持って正しい行動をすれば、会社全体の信用が高まると考え、社員全体が簡単に憶えられて、考えた
り、言ったり、行動したりするときに応用できる、**道徳的な指標として、思い浮かんだ 24 語の言葉を書き留めたのが「四つのテスト」**です。

Four-way test 四つのテスト

四つのテストは倒産の危機に瀕した会社を立ち直らせるための純然たる経営上の指針であることに留意しなければならず、そのためにはその使用を事業上の取引に限定すると共に、邦訳や解釈を厳密にする必要があります。

1.Is it the truth ? 真実かどうか

- 商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは非常に大切な基準です。**真実**というのは、「80%の真実」という言葉が示すように、**人間の心を通じたアナログ的な判定**であるのに対して、**事実**とはその事実があったのか、無かったのかの二者択一を迫るデジタル的判定ですから、「**事実かどうか**」「**嘘偽りがないかどうか**」という邦訳が適切でしょう。

2.Is it fair to all concerned ? みんなに公平かどうか

- fair と all concerned という言葉の翻訳に問題があります。fair は公平ではなく公正と訳すべきでしょう。公平とは平等分配を意味するので、例え贈収賄で得た unfair 不正なお金でも平等に分ければ、それでよいことになります。all concerned は all だけが訳されており、肝心の concerned が省略されています。冒頭に述べたように四つのテストは「商取引」の基準として定めた文章ですから、この concerned (関わりのある人、関係する人) は「取引先」のことを意味することは明白です。従ってこのフレーズは「**すべての取引先に対して公正かどうか**」ということの意味します。

Four-way test 四つのテスト

3. Will it build goodwill and better friendship ? 好意と友情を深めるか？

- goodwill は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店ののれんや取引先を表します。すなわち、その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。「信用を高め、取引先をふやすかどうか」という邦訳にすべきでしょう。

4. Will it be beneficial to all concerned ? みんなのためになるかどうか？

- Benefit は「儲け」そのものを表す言葉です。商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して恥ずべきことではありません。ただし、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうか問題なのです。「すべての取引先に利益をもたらすかどうか」が適訳だと思います。

以上、2680 地区 PDG 田中 毅氏による「社会奉仕 決議23-34の徹底的解析」より抜粋